

「ヘアドネーション」を知っていますか

地域人権教育指導員 末永知恵美

ヘアドネーションとは、小児がんや先天性の脱毛症、不慮の事故などで髪の毛を失った子どもたちのために、寄付された髪でウィッグ(かつら)を作り、無償で提供する活動のことです。ヘアドネーションに賛同する美容室で髪をカットしてもらい、自分で郵送することで寄付することが出来ます。市内にも2つの賛同サロンがあります。

髪を寄付するためには、髪の毛の長さが31センチ以上必要です。髪の毛が伸びる速度は1カ月で約1センチ。31センチになるには約3年かけて髪を伸ばさなくてはなりません。ウィッグを作るのに必要な髪の毛の量は30〜50人分。ウィッグを手に入れるには現時点で1年から1年半かかるそうです。

5月24日付の朝日新聞に、ヘアドネーションした小学生の記事が掲載してありました。内容は、小学校6年生の児童が4年生から髪を伸ばし始め、6年生の2月にカットし髪を寄付したというものです。小学生新聞でヘアドネーションについて知っていたこと、同級生に病気の治療のため髪をなくした子がいた

こと、最も大きい理由は妹の為に。この妹を救うために児童は骨髄移植のドナーにもなり、両親は妹のために肺を一つずつ移植しました。長い髪の訳を知らない子どもたちは、「男のくせに」とか気持ち悪がったりしたそうです。

この記事を読んで、より多くの人に知ってもらいたいと思い、高校の授業でヘアドネーションの話をしました。生徒の中には高校入学前に美容室の勧めで髪を寄付したが、授業で初めてその意味を知った、という人や、寄付をするために髪を伸ばしている、という人もおり、授業したクラスの女子生徒の約10割がヘアドネーションを経験していました。「友達が生徒だったので」

「授業で勉強して興味を持った」など、きっかけもさまざま。髪を伸ばしている生徒は、髪の手入れが面倒になったこともあったそうです。授業を受けて、髪を伸ばそうと決意した生徒もいます。授業をしなければ、ヘアドネーションをしている生徒が身近にいないことを知らないまま

また、市役所でヘアドネーションの話をしていると「私の母が髪を寄付しました」と職員が話してくれました。熊本地震の避難中に会った女性が実践しており、「私も誰かのためにいたい」という思いで取り組まれたそうです。

献血や寄付、ボランティア活動など、人のためにできる取り組みは数多くあります。被災地の復興活動に参加した高校生もいます。みんな心温まる取り組みです。自分にできることを無理せずに行うことは、達成感や充実感を味わうことにつながるでしょう。ただ、ヘアドネーションは、長い期間を要するので覚悟がいられます。

身近な人たちが素敵な取り組みをしていることを知り、たくさんの人に紹介したいと思い、記事を書きました。小さなことでもいいので、自分にできることを始めてみませんか。世界が広がるかもしれませんよ。



◆シリーズ◆ 菊池一族の遺産

問い合わせ先 菊池一族プロモーション室 ☎0968(25)7267

菊池武敏

武敏は12代武時の8男で、13代武重の弟、14代武士、15代武光の兄にあたります。特に13代武重の戦の分野における補佐役として大きな活躍を果たしました。

父・武時の死後、武重は肥後守の役職を与えられ、後醍醐天皇の側近として京に上りました。その際、武重の留守を預かって菊池を守っていたのが武敏です。武重の上京後、中央は足利尊氏の裏切りにより大きく混乱し、

宮方(後の南朝方)と武家方(後の北朝方)で対立が起ころうとしていました。1336(延元元年)、尊氏は京都で敗戦を喫し、体勢を立て直すために九州へと下ります。

この尊氏との直接対決が、有名な「多々良浜の戦い」です。武敏率いる菊池勢と九州諸氏の連合軍は、圧倒的な兵力で足利軍を迎え撃ちましたが、味方の裏切りにあい、大敗という結果に終わりました。このことから武敏は「敗残の将」という印象

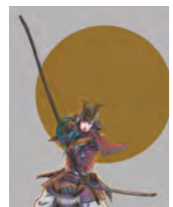
が広まっていますが、その前後の逸話についてはあまり知られていません。

多々良浜の戦いの直前、武敏はかつて父武時を討死させた少式貞経と直接対決を果たしています(有智山城の戦い)。息子の頼尚が出払った隙を突いて大宰府を攻め、有智山城に追い詰められた貞経を自害に追い込みました。武時の死から3年後、貞経は裏切った代償を息子に武敏へ払うことになったのです。

連戦の疲れからか多々良浜では悔しい結果となりましたが、その後も武敏は精力的に活動を続け北朝勢を翻弄。記録によると1336年だけで出撃は7回にも上ります。

翌年には当主の武重も菊池に帰り、武敏も兄の指揮の下で活躍しますが、1341(興国2)年、34歳の若さで武重が病没した後、武敏の名前も記録から見られなくなりします。

武敏の墓は大分県宇佐市の個人宅に、明治時代に建てられたと見られる亀跡様式のものがあります。現地の言い伝えによると武敏は宇佐神宮の保護を求めて訪れ、そのまゝ晩年を過ごしたそうです。



菊池武敏

わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

藤木亮二 絵画展 少しでも感動を与えられればと心を込めた作品約20点を展示。 期間 12月7日(火)~19日(日) 山を愛する仲間の写真展 山を愛する仲間が撮った山や植物の写真を展示。 期間 12月21日(火)~1月16日(日)

開館時間 午前9時~午後5時 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池観光協会

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

夫婦の手紙・絵手紙コンクール作品展 日々の感謝や思いやりに満ちた手紙・絵手紙を観光交流館で展示します。 期間 12月18日(土)~1月7日(金)



開館時間 午前9時~午後5時30分 休館日 第4火曜日(点検などで臨時的に休館する場合あり)

◆シリーズ◆ 交流の絆 ⑳

問い合わせ先 市長公室 ☎0968(25)7252

【友好都市】韓国・清州市を紹介!

清州市は、韓国の首都ソウルから南方へ向かって車で2時間半の場所にあります。2014年に旧清原郡が周辺自治体と合併し清州市となり、人口80万人を超える主要都市となりました。

以前から旧菊池市と友好交流都市を結んでいましたが、合併後の2007(平成19)年に、改めて友好都市の締結を調印しました。これまで、中学生同士のホームステイや行政及び各種団体の視察、マラソン大会の参加などの相互交流を行っています。



2018(平成30)年に開催の「熊日菊池桜マラソン」に併せて来菊した清州市市民交流団

「はい!こちら菊池市消費生活センターです!」 ⑦3

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450 (月)~(金)午前10時~正午、午後1時~午後4時 福祉課

若者を狙ったトラブルに注意

来年の4月から成年年齢が18歳に引き下げられます。若者は消費者としての知識や経験が浅いため、就職や進学などで社会に出た際に種々の勧誘を受けトラブルに巻き込まれやすい傾向にあります。今回は、若者を狙ったトラブル事例を紹介します。

マルチ商法

友達、先輩などから、「簡単にお金が儲かる方法がある。話を聞いてみないか。簡単な作業でいつでもやめられる」と勧誘された。説明された仕事の内容はよく理解できなかつたが、「友達を紹介すれば紹介料をもらえる」と言われ契約してしまった。その後、会員登録費用として50万円も請求され、「貯金もなくなすぐには払えない」と言ったが、「消費者金融で簡単に借りられる。借りた分はすぐに取り返せる」と言われた。借金して払ったが、実際には思うように儲からず、やめたいと言っても解約する方法が複雑で簡単にはやめられず、お金も返してもらえないといった相談がありました。

SNS上の勧誘による副業 SNSの広告から誘導されたり、SNSで知り合った人から勧められたなど多くの手口があります。ネット上で相手が信頼できるかどうかよく分からないまま、話を信用してしまい、契約してトラブルになるケースが多くみられます。

いずれもお金を前もって払ってしまうケースがほとんどであり、一度支払ったお金を取り返すのは困難です。トラブルに遭わないためには、勧誘を受け契約を迫られても、決してその場で契約しないこと、保護者や周囲の人に相談することです。簡単にお金を稼ぐ方法はありませぬ。何かあればすぐに消費生活センターに相談してください。



相談したいなら電話してください